

なんでもない日を、ちょっと特別に

コーヒーを飲みながら読みたい1冊

みなさんはコーヒーは好きですか？

もし、ふと入った喫茶店でコーヒーを飲むことによって過去に戻れるとしたらどうでしょうか。会いたかった人にもう一度会えたり、伝えられなかった言葉を届けられたりするかもしれません。今回は、そんな不思議な喫茶店のお話です。

物語は「コーヒーが冷めないうちに」という作品。

ある小さな喫茶店には、「特定の席に座ると過去に戻れる」という不思議な噂があります。

しかし、その体験にはいくつかのルールがあります。

まず、過去に戻っても現実は変わらないということ。そして席を立つと現在に戻されてしまうこと。さらに、カップのコーヒーが冷めてしまう前に元の時間へ戻らなければならないという決まりがあります。

物語では、さまざまな事情を抱えた人たちがその席に座ります。恋人に別れを告げられた女性、会えなくなった大切な人、伝えられなかった想いを抱えた家族。それぞれが後悔や未練を胸に、もう一度だけ大切な人に会うため過去へ向かいます。

しかし、過去に戻っても運命が変わるわけではありません。それでも人は過去に戻ろうとします。なぜなら、たとえ未来が変わらなくても「伝えられなかった言葉」を伝えることには意味があるからです。ほんの短い時間でも、その一言が心を救うことがあるのです。

この物語は、過去を変える物語ではなく、過去と向き合う物語なのかもしれません。誰にでも「あの時こうしていれば」と思う瞬間はあるものです。

もしあなたがその喫茶店を見つけたらどうしますか。
コーヒーが冷めないほんのわずかな時間だけ、過去に戻れるとしたら――。

あなたは過去に戻って、運命を変えてみたいですか？



運命は変えられるのか？



管理課 石井